

26.3 後期高齢者医療特別会計

議案第6号 令和8年度小平市後期高齢者医療特別会計について生活者ネットワークとして賛成の討論をいたします。

2026年度は被保険者数の増や診療報酬の改定などによる医療費の伸び、新たに子ども子育て支援金制度が創設されたことなどから平均保険料は14.4%の伸び、歳入歳出予算額総額は前年比8.9%増額され、物価や光熱費の高騰に年金などの収入が追いついていない中、苦しい判断を迫られました。

子ども子育て支援金分を医療保険に上乗せして徴収することには納得できませんが、広域連合で保険料の上昇抑制のために東京都に財政安定化基金からの繰り入れを申し入れしたり、62団体から特別対策に係る公費の投入、低所得者に係る保険料所得割額の軽減措置の継続、基礎賦課額について減免の特例として均等割7.2割軽減を実施することなどから、苦渋の決断として受け入れるものです。

最後に資格確認証について申し述べておきます。2025年度はマイナ保険証のあるなしにかかわらず暫定措置として全員に資格確認証がプッシュ型で送られました。審査の中でマイナ保険証の利用状況や年齢で交付するとの説明がありましたが、高齢になると手続きなどが難しくなるケースが増えてきます。まずは再度紙の保険証を発行するよう要望したうえで、資格確認証は26年度以降もプッシュ型で全員に交付するよう国や都に働きかけていただくことを要望し、生活者ネットワークの賛成討論といたします。